レッスン：PYR 29

テーマ：Life（生）とは何か？

PYR29/KE05/07/052016

私の姉妹・兄弟たち、

スピリット、光、火の子供たちよ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に包まれています。

Lifeとは何でしょうか？私たちはLifeをどのように理解しているでしょうか…絶対Life、あるいは現在のパーソナリティーを活性化するLifeのスパークでしょうか？

　絶対存在とは何で、それはLifeとは異なるのでしょうか？

**私たちは、Lifeは全ての原因であり、**

**全ては絶対存在のなかにある、**

と言います。それは人間にとってアプローチ不可能な何かなのです。私たちは意味を与えたり、エレメンタルを造り出したりしてこの絶対的リアリティーにアプローチすることはできません。なぜなら、何かについて理解すると、即座にエレメンタルを創り、それを他の何かと比較するからです。

　ですから、手の届かない先にあるLifeについて理解しようとすると、それは意味を創りだし、エレメンタルを造りだして理解しようとするのです。ですから、

**私たちが神について何か理解しようとすることは、エレメンタルを創造することになります**。

　絶対存在と過去の多くの神々との違いは何でしょうか？それらの信念と唯一なる神の信念とはどのように違うのでしょうか？彼らは偶像を信じ、多くの神々を信じました。しかし同時に、彼らは自分達の可能性を超えた何かを達成しようと奮闘してきました。なぜなら、それは内側から来る何かであると信じていたからです。

　今日、私たちは唯一の神を信じるという信念を持っています。それは経験を通じて絶対リアリティーにアプローチできない人間が、エレメンタルを造り、そのエレメンタルが何であれ唯一の神と人々が信じているものを意味していますが、それと同じではないでしょうか？

　しかし、キリスト教では私たちは唯一神を信じており、その神は真の神であると信じています。　実際にその真実に対して指で触れて確認、証明していないのに、それを確信できるのでしょうか？そしてそれらの真実はどこに見いだされるのでしょうか？それは現在のパーソナリティーの内側においてです。なぜなら、絶対リアリティーですら全ての人の内側に見いだされるからです。

　古代の信念のなかには、自分達の内側に何かを発見することができる、という信念があるものもあります。しかし勿論、それらはサイコノエティカルな成長への努力を受け入れる、そのためにどのような努力が必要かを理解するという気づきのレベルにはありません。

　そして無限の年月が過ぎ、人間は最初のサイクルから2番目のサイクルへと進んで行くにつれてLifeそれ自体からより多くを現すようになりました。勿論、当時の人々はどのような努力をすべきかについては何も知らず、内側から放射されているものを見いだすことなど何も知りませんでした。

　勿論、人々はモニュメントを築き始め、彼らはそれをパワーと能力を現すために使用しました。なぜなら、内なる声が彼らに「もしそれらのモニュメントを使用すればパワーと能力を現すことができる」と語っていたからです。そして勿論、それは人々がグループを作り、お互いを守るための助けとなり、勿論それが地球上のあちこちに国々が形成される始まりとなりました。

Page2

それらのモニュメントは私たちが様々なサイクルのなかで助けとして使っているものであり、もっとも一般的なのは四面ピラミッドです。繰り返しますが、当時の人々はそのリアリティーについては知りませんでした。

　さて、それらのモニュメントを築いた人々は初めはパワーとか能力を現していませんでした。しかし長い年月が過ぎると、Lifeはそれらの人々が自己実現に到達しなくても創造エーテルを使う能力のある人間を送ったのです。彼らは2番目のサイクルにありました；そしてエジプトにはファラオが、そして地球上の他の地域には様々な部族の長などがいました。

　創造エーテルを使用することによって多くの良いこともしましたが、同時に多くの害ももたらしました。彼らはより大きなモニュメントを築き始めました。なぜなら、最初のものはとても小さかったからです。それら大きなモニュメントの一部はエジプトにあり、また他の地域にもあります。彼らの努力とはいつまでも長く生きることです；彼らはそれらのピラミッドが生み出すパワーによって、この実存の次元において永遠に生きることができると信じたのです。彼らはパワーと能力を手に入れていたにもかかわらず、実存のこの次元の波動以外のことは何も知りませんでした。

再び、人間は内側から現すためにどのようにもがいていたか、何を見いだそうとしていたかに戻りましょう。それは毎日の生活のなかで全ての人がアプローチ不可能なものだったのでしょうか、それともアプローチ可能なものでしょうか？

　それはアプローチ可能なものです。しかし人間はそれがわかりませんでした。

私たちはLifeの海のなかで泳いでいます。そして私たちの内側だけでなく、私たちはその海に対して自分自身を開いて、それを感じる必要があります。もし周囲を見回し、

**目の前にある小さな植物を観察してみれば、あるいはアリまたはハエ、どんな動物でも構いません；それはLifeです。**

　Lifeとは何でしょうか？Lifeの主な特質は何でしょうか？Lifeをどのように定義しますか？たとえ目で見えなくてもLifeは存在します。しかし、それをどのように定義しますか？動き、振動、波動があります；たぶん振動、波動を見るのは簡単ではないかもしれませんが、しかし動きは見ることができ、その動きはあらゆるところで見ています。

　私たちは木の葉を見ますが、何が葉っぱを動かしていると思いますか？空気があるから、というかもしれません。確かに空気が葉っぱを動かします；しかし空気とは何でしょうか？それは動きではないでしょうか？勿論、それは動きです。私たちの周囲のあらゆるところにこの動き、振動そして波動があり、私たちはその中を泳いでいるのです。周囲にこの動き、空気なしでは私たちは人間として存在しないでしょう。

　ですからLifeの主な特質のひとつは動き、振動、波動です；しかしアウタルキーのステートにおいてはこの動き・振動・波動が他になにも動き・振動・波動がなくてもそれ自体で動き、振動、波動があるのです。それは事実です。なぜなら、私たちにとってはもし何かの動き、振動、波動があると、その結果が生じます。そうです、空気が木の葉を動かし、それはまた他の多くの現象をもたらします。

　ですから、終わることのないディバインの黙想、創造界、そして創造界におけるLifeの現れの結果として、全てがあります。それはいつもあり、永遠にあります。それがLifeです。アウタルキー、そしてアウタルキーのなかにある現れ、創造界を分けていますが、それはただ学習上そのように話しているだけです。

　ですから、私たちが見いだそうと苦労しているもの、実際それは私たちの内側にあり、創造界のいたるところにあります。私たちは自分達が見いだそうとしているなかで泳いでいるのです。ですからLifeは動き、振動、波動です。しかしまた、Lifeは絶対英知、絶対善、絶対パワーです；これらがLifeの主な特質です。しかし、生命の木の上では見いだすことができず、私たちがしばしば話した特質、詳しく話したものは生命の木に見いだすことはありません。なぜなら、それはLifeの現れにはアプローチ不可能なものだからです。

Page3

　ですから現れとしてのLifeがあり、この現れとしてのLifeは、アウタルキーにおけるLifeとは異なっているでしょうか？答えはノーです。しかし、もしあなたがスピリット・セルフに、自己実現していないスピリット・セルフに、その本質の主な特質は何かと尋ねれば、そのスピリットは答えることができないでしょう。創造界におけるその本質の様々な現れについて言うことはできないからです。

　現れとしてのLife、そしてアウタルキーのステートにおけるLifeの違いは何でしょうか？

　唯一の違いは魂のセルフエピグノシスは達成すべき特定の目的を持つ現れです。実際、この果てしなきディバインの黙想の結果としてセルフエピグノシスの質があるのです。いいですか、魂のセルフエピグノシスを現しているスピリット・セルフですらこの終わることのないディバインの黙想に参加しているのです。なぜなら、それはアウタルキーを去ったことは一度もないからです；それは絶対存在のワンネスの中です。

　ですから、唯一の違いはセルフエピグノシスです。なぜなら、質的にはそれはまったく同じです；量的にはそれは問題ではありません。なぜなら、現れは量ではなく質によるからです。そして多くのレッスンで述べたように、最大の中にあるもの、絶対存在のワンネスの中にあるもの、それは最小のなかにもあるのです。

　私達は魂について少し話しました；人間の内側にあるLifeのスパークについてはどうでしょうか？それは魂のセルフエピグノシスと異なっているでしょうか？実際、同じです。しかし、違いがあり、その違いは、そのスパークは質的には魂のセルフエピグノシスとまったく同じですが、Lifeからどれだけ多くをそのスパークが現しているかに関しては、境界があります。つまり、Lifeそれ自体から自己実現した現在のパーソナリティーに与えるということです。そして、何であれLifeそれ自体からスパークによって与えられる、それは現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルによります。現在のパーソナリティーの自己実現の後にのみ、そして魂のセルフエピグノシスに同化される時初めて、そのスパークはその本質を完全に現わします。その時、それは同化ではなく実際に魂のセルフエピグノシスなのです。このスパークが魂のセルフエピグノシスに与えるのは自己実現です。

　ですから、私たちはどのようにして神を理解しますか？Lifeをどのように理解しますか？あなたはエレメンタルを創造し、そしてあなたは自分が創造したエレメンタルを他の何かと比較します。人類はそれとまったく同じことを過去において行ってきたのです。

　あなたは聖者を信じます；それらのパーソナリティーについてあなたは何を知っていますか？あなたはエレメンタルを創造します、そしてあなたはそれを信じます。しかし実際

あなたは何をしているのでしょうか？あなたはエレメンタルを創造し、自分の信念でそのエレメンタルにエネルギーを与えているのです。人間がその信念を信じれば信じるほど、そのエレメンタルはそれだけ強くなります。そして非常に強くなって現象を生じさせます。あなたのための現象。そして人間はその現象の前に跪くのです。

　ですからLifeとは何でしょうか？だれもがLifeをまったく同じように理解しているでしょうか？神とは何でしょうか？神はどこに見いだすことができるでしょうか？前に述べたように、私たちはLifeのなかを泳いでいます。Lifeは私たちのなかにあり、私たちの周りにあり、Lifeはあらゆるところにあります。

　Lifeというテーマはとても広いものです。Lifeについて述べるには数回のレッスンではなく、多数の生涯を通じて話すことができます。

Q：私にとって神とは何か特定のものではなく、様々なレベルにわたる無限の階段のようなもので、それがあらゆるレベルにおける存在を統治しており、私にとってそれ以上の理解はできません。一般に、神に関するキリスト教的エレメンタルは、大きな白い髭をはやした老人ですが、一時的存在の階級制度的なものだと思います。

K：勿論、人間は昔から神に関する理解を自分が理解できるレベルに落とそうとしており、それゆえにいろいろ異なった信念があります；ある人は物質世界を越えたところには何もないと理解し、また物質界の先にはテオーシスが（＊神との再合一）があると言い、また魂は天国または地獄に入るという人もいます。

　最も簡単な方法は現在のパーソナリティーとしてのあなた自身を観察してみることです、そうです最初は現在のパーソナリティーとして、そして徐々にそうすることによってそうと気づかずにあなたは自分自身の中からLifeに近づいているのです。

　前に、自然を学ぶ事によってLifeにアプローチするのはそれほど簡単なことではない、と言いました。もちろん、自分自身を観察することによって内側のLifeを理解できるようになるでしょう。古代ギリシャではそれについて述べました…あなた自身を学ぶことによって創造界それ自体の知識を得ることができうだろう、と。

　ですから、それが神です。神は実際あらゆるものの原因であり、全ては神のなかにあります。それは原因であり、この原因なしには何も存在しません。しかし、無があるのでしょうか？違います、創造界があり、それら全てのヘブンがあり、そして天体があります。天体はいくつありますか？無数であり、数えきれません。

　これら全てを誰が創造したのでしょうか？それらは無から生じたのでしょうか？私たちは無から現在のパーソナリティーとして現れたのでしょうか？これは全ての人間が自分自身で考えるべきことです。

Q：あなたはあなた自身の内側での神とのつながりをどのように見いだしますか？

K：繰り返しになりますが、学ぶ事によって徐々に次のように認識するステートに到達します…「活性化させる何かがあり、それは自分というパーソナリティーが存在し、実在し、何であれそれを表現する原因である」と。ですから現在のパーソナリティーを深く学ぶことによって、徐々に何であれ二番目のサイクルが提供するものを受け入れるステートに到達します。なぜ一番目ではないのか？一番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーは、Lifeによって与えられる可能性を利用することができません。

　二番目のサイクルでは、現在のパーソナリティーはエレメンタルを創造し始め、比較します。私たちは意味と二元性の諸世界に住んでおり、私たちは何であれ自分が認識し、理解するものを創造します。それゆえに過去に多くのレッスンのなかで、目覚めている間に無数のエレメンタルを生み出していると述べたのです。もし人間が創造し、生み出しているものを見ることができるなら、驚くことでしょう；それは無数のエレメンタルです。

　そして勿論、多くの人間が同じことを信じているなら、この小さなものが大きなエネルギーを持つ巨大なエレメンタルになり、そこにはたくさんのパワーがあります。より多くの人間が信じればより大きなパワーを持つようになります。それゆえに地球上のある特定の場所は、人間の集中によってヒーリングパワーのある場所として評判が高いのです。例えば、ルルド、Kykkoの僧院（＊キプロスにある聖なる僧院）、Tinos（＊ギリシャ領の島）,処女マリアなどはその例ですが、それ以外にもたくさんあります。

　前にも処女マリアについて話しましたが、この処女マリアの特質は何処にありますか？前に何回も述べましたが、この絶対存在のこの特質を意味するシンボルは生命の木の上には見い出すことはありません。彼女はどこに見いだすことができるでしょうか？Lifeのスパークのなかに見いだされるのでしょうか？どう思いますか？質という点では、魂のセルフエピグノシスとスピリット・セルフモナドの間に違いはない、と前に話しました；処女マリアはLifeの特質として来るのでしょうか？それはLifeの最小のスパークの中にさえありますが、しかしそれにアプローチすることは不可能です。これは処女マリアに関することです。残念ながら、人間はLifeの質としてのこの特質を過小評価しています。

　ですから、私たちが女性が子供を生むという時、実際に子供を産むのは処女マリアなのです、私たちの内側におけるLifeのスパークのなかにある彼女、処女マリアなのです。

Q：私たちのワーク、仕事は気づきを高めることです。理解、気づきを高めるのです。しかし実際、どのようにそれをするのでしょうか？私にとっては、いつも現在、瞬間にいて非常に機敏であること、と思うのですが。

Page5

K：いいですか、多くのレッスンのなかで、人は自分の気づきの真のレベルを認識する必要がある、と話しました。これに成功しなければ、それを現さなければ、いかにしてより良いセルフ、自己を現すことができるでしょうか？；役者の衣装を脱ぎ捨てて、その特定のレベルから成長しようと、より多くを現そうと試みることができるでしょうか？勿論、現そうとするものはあなた自身の内側にあるのであり、それ以外のところにあるわけではありません。そうです、それはあなた以外の外にも見いだすことができますが、それはもっと困難です。なぜなら、前に述べたように、Lifeはあらゆるところに見いだすことができますが、しかしあなたにとって一番身近なところではそれは現在のパーソナリティーとしてのあなたを活性化しているスパークなのです。

　ですからいつも言っているのです…私たち自身を意味するエレメンタルを創造して、そのエレメンタルを遠くから学ぶべきではないと。そうではなくて、内側にある自分自身を学ぶべきなのです。自分自身を学ぶ時にはエレメンタルを見ることはせず、自分自身の状態、ヒポスタシスのなかに飛び込むのです。エレメンタルを創造するシステムがありますが、私たちはそうしません。私たちは自分自身を観察し、学ぶのです。そうすべきです。なぜなら、私たちがエレメンタルを創造するとき、このエレメンタルを理解する方法として再びこのエレメンタルにアプローチし、そしてそれを何か他のものと比較するからです。

　ですから、自分の外側に何かを創造する代わりに、自分の理解のレベルにアプローチすべきなのです。自分の内側に飛び込んで、自分の真の現れのレベルと向き合うのです。それは簡単なことではありませんが、しかしそれが唯一の方法なのです。

Q：内側に飛び込むことと、エレメンタルを創造することをどのように区別するのですか？

K：いいですか、あなたがそれに成功したときにそれがわかるでしょう。初めはわからないでしょう。しかし、徐々に、遠くからではなく、自分の内側から自分自身を見るというリアリティーにタッチしているということを知るようになるでしょう。あなた自身を内省、内観すると言う時、それは自己省察なのです。最初は遠くから行い、エレメンタルを生み出すかもしれません。しかし徐々にそれは変わり、すべてはあなたの内側から何の努力もしないで行えるようになるでしょう。（思考なく内側を見ると云うこと・・言葉のない真の意味の自己観照）

　自己実現に向けた真の努力はどこからスタートすると思いますか？真の努力は二番目のサイクルが終わった時、3番目のサイクルからスタートします。なぜなら、ご覧のとおり、四面ピラミッドに関して、このサイクルは現在のパーソナリティーの部屋の中にある四面ピラミッドをマスターし終わった人間を意味しています。自動的にその部屋から出ることができるということは、三番目のサイクルに入ったということです。その努力は部屋の中にいる時から始まり、現在のパーソナリティーはジャンプして、時には押すことも必要になります。ですから、自己実現への本当の意味での努力は潜在意識的にではなく、意識的にスタートし、それは2番目と3番目を分ける境界のところで始まります。そして自己実現への転生、最初の転生から最後の転生までの間でもっとも多くの転生が行われるのは2番目のサイクルです。3番目のサイクルから先はもちろんたくさんの努力がありますが、物事はずっと簡単に進みます。

　なぜずっと簡単なのでしょうか？なぜなら、現在のパーソナリティーは意識的に生き始めるようになり、何が上で何が下かを知っており、真に価値あるものに価値を見いだすようになるからです。真の価値とは現在のパーソナリティーに真の恩恵をもたらすものを意味し、現在のパーソナリティーは創造の法則に反するようなことは避けるようになるからです。

レッスン　PYR 29 エクササイズ　No.1

目を閉じて静かに座り、心を騒がせるもの全てを解き放ちます…純白のなかにいる自分を見、そして自分の境界を感じます…

　純白の五芒星のなかにいる自分自身を見いだします…あなたは純白のなかにいて、自分の形の境界を感じており、純白の五芒星によって守護されています…。

　あなたの現在のパーソナリティーを構成する3つの太陽にエネルギーを与えて活性化します、太陽神経叢からはホワイトブルー、エーテルのハートからはホワイトピンク、頭のセンターからは金色の太陽。3つの太陽はあなたの形のなかでのみ輝いており…あなたの境界の外には出ていません…

　ですから純白の五芒星のなかで守られているあなたには4つの色の輝き、光があります…あなたの体の純白の輝き、太陽神軽叢のホワイトブルー、エーテルのハートからのホワイトピンク、頭のセンターの金色です…

　純白の五芒星で守られているあなたにはこれら4つの色の輝きがあります、今あなたは自分がどこにいるか完全に気づいています、あなたはこの部屋のなかにいて、周囲の状況も知っています、あなたは完全に気づいています…

　今あなたがいるこの部屋がホワイトブルーの輝きによって包まれているのを感じます…あなたはその光によって包まれているのを感じ、快適に感じています…それは特にあなたの肉体に良い健康を与えます…それを感じます…それはホワイトブルー（＊淡い水色）の霧のような輝きです…

　同時にこの部屋全体を別の光がカバーしているのを見ます…それはホワイトピンク（＊淡いピンク色）で前の色とは違う何かに包まれているのを感じます…今あなたはこれら2つの輝きで包まれており、それらはそれぞれ異なったフィーリングをもたらします…

　このホワイトピンクの輝きをあなたはどのように感じますか、それは何をあなたに与えるでしょうか？感じてください…それは純粋な愛であなたを包みます、それを感じます…それはあなたを包み、それはあなたのエーテルのハートの部分で感じます…それはその部分を刺激します…それを感じてください…

　さて、別の輝きが入って来て、部屋全体を包み、あなたはその金色の輝きに包まれます…それに包まれているのを感じます…あなたはどこでそれに包まれているのを感じますか？…その金色の光はどのセンターを刺激しますか？…それはあなたに知識を与え、あなたの内側から来るものをあなたに与えます…そしてあなたの内側から来るものを、あなたは徐々に現し始めるようになるでしょう…

　さて、何か違うものを感じます…何か別のものがこの部屋に入ってきます…あなたは初めはそれが何であるかをうまく説明出来ません…

　そして徐々にそれがあまりにも輝いていて、言葉では言い表すことのできない何かであることがわかります…あなたは深い静寂と至福のステートに入っていきます…それはエクスタシーの状態です…それを感じます…この部屋のなかには今やたくさんのアガピがあり、このアガピに包まれているのを感じてください…それはあなたの現在のパーソナリティー全体を構成している諸センターを刺激します…あなたの身体の全ての分子、細胞、原子のなかでそのアガピを感じます…

　あなたの現在のパーソナリティー全体の健康を願い、この地球上にいる全ての人間に対して、そして創造界全体に対してアガピを願います…

　このアガピと最愛のお方からの祝福があなたと共に、あなたの愛する人々と共に、あなたの家庭に、そして世界全体と共にあることを願います…

　私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。終わります。

EREVNA PYR NO.29